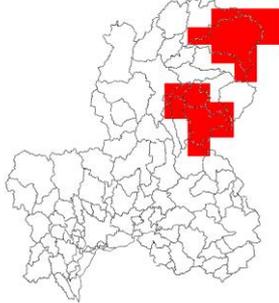


ヒトツバテンナンショウ		<i>Arisaema monophyllum</i> Nakai	絶滅危惧Ⅱ類
			サトイモ科
選定理由	生育地と個体数が少ない。		写真(清水英彦)
形態の特徴	葉は1個、偽茎部の長さは葉柄部のほぼ2倍あり、葉身は鳥足状に分裂する。小葉は通常7-9枚、長楕円形、鋸歯が出ることもある。花序柄は葉柄より少し短い。仏炎苞の筒部は淡緑色、舷部は緑色で三角状披針形、先は漸鋭尖形にやや長く伸びる。花序付属体は有柄で細い棍棒状、淡黄色。		
生態的特徴	溪流に沿った急斜面のやや暗い所に生育する。葉と花序は5-6月に出現する。		
分布状況	本州の中部以北に分布する。岐阜県では飛騨地方の東部に見られる。		
減少要因	生育地の開発。		
保全対策	生育地の保全。		
特記事項	岐阜県は分布の西限にあたる。		
参考文献			

文責: 高橋弘